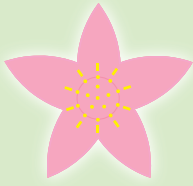


山梨県立ろう学校PTA新聞



ふ え ふ き

No.
29山梨県山梨市大野1009
TEL 0553-22-1378
FAX 0553-22-6419

令和6年3月1日発行



5類と生成AI

PTA会長 小倉 和美

日頃よりPTA活動にご理解ご協力くださり誠にありがとうございます。本年度はコロナ禍で延期中止縮小されてきた学校行事部活動が平常通り行われたり、保護者が参加できる機会も増えたりと楽しみが戻ってきたように思います。PTA活動もコロナ対策が減り交流機会が増えました。

このPTA新聞の原稿作成に頭を悩ませている

時、息子にチャットGPTで聞いてみていいか質問したところ、頭をかかえて「う～ん」と返事に困る反応でした。その反応にニヤリとしながら、今年5月にグーグルを退社されたAIのゴッドファーザーと呼ばれるヒントン博士のニュースを思い出しました。今後フェイク画像動画音声が増え、真実が分からなくなってしまうと警告。AIが言った事に対し、それが本当に正しいのか精査する力が求められます。それには日々の体験、関わりが大切と思うこの頃です。



兄の思い出

校長 木村 則夫

令和5年お盆の送り火の日、2歳上の実兄が60歳の生涯を終えました。兄はダウン症候群で、重度の知的障害がありました。生まれた当時は心臓の奇形もあり、20歳まで生きることは難しいだろうと言われていましたが、60歳までよくがんばったと思います。すでに他界している両親が丁寧に育てた甲斐があったのだと思います。

小さな頃からよく父は外に連れて行って、社会経験を積ませていた記憶があります。特別支援教育（その頃は特殊教育）が義務化される前で、どうしても学校教育を受けさせたいと考えていた父母は、甲府養護学校（現在の甲府支援学校）に入学させました。その後昭和49年に開校したわかば養護学校（現在のわかば支援学校）に転学、当時は高等部がなかったため、県に高等部設置の働きかけを行い、高等部の前身となる別科が設置され

たと聞いています。当人はいたってマイペースでしたが、学校での学習のおかげで、自分の名前を読んだり、書いたり、なんとなく数唱もでき、働く喜びも感じるようになりました。

学校を楽しみにしていた兄の姿やできることが増えることを喜ぶ両親の姿は、私が特別支援教育を志すきっかけになりました。その人らしく生き生きと生きていくことができるように、その土台となる確かな学力、豊かな人間性、健康・体力をバランスよく育てていけるようにこれからも教員として支援して参りたいと兄の霊前に誓いました。最近ウェルビーイングと言うことばをよく聞きます。生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念であり、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられる状態にあることも含む包括的な概念だそうです。一見新しい概念にも思いますが、兄をとおして考えていた概念だと思います。今後もウェルビーイングの向上を目指した学校づくりに真摯に取り組んでいきたいと思っています。

PTA研修会

細川かおり

今年度の研修会は、6月に武蔵野大学の北義子先生、11月に大東文化大学の齋藤友介先生より講演していただき、難聴児の家庭での関わりや言語習得、家庭でのコミュニケーションについて学びました。そこでは①ことばを育てるために必要な

こと②認知的スキルを伸ばすための親の役割③地域との関わりや難聴児が自立を目指すために社会、情動的スキルとコミュニケーション能力を伸ばすために必要なことを教えていただきました。とても勉強になりました。



幼稚部

1年を振り返って

木下 麻衣

幼稚部に入学して2年目。今年度はコロナも5類へ移行し、普段の活動や行事の制限が緩和され、昨年度以上に充実した学校生活を送ることができました。

昨年度は入学したてで、すべてのことが初めてであり何をするにも固まってしまい動けずにいた娘でしたが、2年目となりこれまでの経験が生かされ、楽しんで活動を行うことができるようになりました。また、家族以外の人とはほとんど話せなかったのが、沢山の言葉や手話を覚え、字も書けるようにな



り、少しずつ自分の考えや気持ちを伝えられるようになりました。運動会でも大勢の人たちの前で堂々と演技をしたり、競技に参加して娘自身がとても楽しむことができました。ろう学校の生活の中で沢山のことを経験し、自信へと繋がっているのだと感じます。日々成長している姿を見ることができ、嬉しい限りです。日々子供達が楽しく過ごせるよう見守り、指導して下さる先生方にはとても感謝しています。

幼稚部での生活も残り1年となりますが、充実した学校生活を送り経験を糧にできるよう、サポートを行っていききたいと思います。



一年間を振り返って

中学部1年 印部 雅矢

一年間を振り返って一番の思い出は運動会です。中学生になって初めての運動会だったのでとても緊張しました。また、小学部の頃とは違って「責任」を感じました。

エールの種目は、中学部高等部の人数が少ないので、少しでもミスをする目立ってしまいます。自分がミスをしてしまうと、みんなの迷惑になってしまうと実は心の中で思っていました。だから、「緊張」と「責任」を強く感じてしまいました。運動会前の練習では、「このくらい覚えれば良いだろう」と自分の力を過信してしまったり、面倒という性格が出てしまったりして、本番の時に



中学部

小さなミスを連発してしまいました。それでもたくさんの練習をしてきたおかげで、タイミングがずれてしまっても、素早く直し、腕を大きく動かして表現することができました。中高種目では、バッティングの場面で思い切って打つことができ、マット運動での倒立前転もきれいに決められました。



どちらも初めての演技でしたが、なかでももっとも不安だったのは倒立前転でした。練習を積み重ねる度に上手になり、自信をもって発表することができました。

来年の笛吹祭では、「緊張」と「責任」で得たことを生かして、たくさんの練習をして自信を持てるようにしていきたいと思いました。

寄宿舎

食事って楽しい

主任寄宿舎指導員 丸山 貴子

今年度から食事の配膳を舎生自ら取り組んでいます。皿などに盛り付けるだけと言っても量や具材の調整はもちろん、合理的にそれらを行うなど配膳は奥深いです。最初の頃、ボウルは空になっているのに、盛り付ける皿はまだ何枚も残っていたり、量の調整をしているのに結局増えていなか



ったり。しかし、この一年間の経験で麺類、デザートなどまだ時間はかかりますが、以前よりも上手に盛り付けることができるようになってきました。さらに向かい合っておしゃべりしながらの食事はこんなにも笑顔に溢れ、ゆったりとした時間が流れていることを改めて実感しています。



小学部 卒業を前に

渡邊しのぶ

小学部として過ごす日々も、残りわずかとなりました。この1年間、様々な経験を通し大きく成長しました。今までのコロナ禍の制限が緩和され、修学旅行や運動会、交流ふれあい祭りなどたくさんの行事ができ、笑顔で楽しむ子供達の姿が印象的でした。入学したときは大きなランドセルを背負い、学校が大好きで楽しく登校し、勉強に励ん



でいた頃を思い出します。親としては安心と感謝そして、その日一日を頑張るパワーをもらっていました。それは息子が卒業を前にし

た今も変わりません。毎朝ろう学校で息子を降ろし、そのまま仕事に向かいます。起きてから出掛けるまでの時間をどんなに慌ただしく過ごしても、朝の車中ではゆっくり会話ができるので私はこの2人だけの時間を大切にしています。

4月からは中学生。これから先、いろいろな困難に直面することもあると思いますが、一步一步前進して欲しいと願っています。ここまで成長してこれたのもお友達、そして、あたたかく見守ってご指導してくださった先生方のおかげです。本当にありがとうございます。



ろう学校生活最後の年

高等部3年 丸山 魁斗

今年度、憧れであった生徒会長になりました。私は18年間ろう学校に在学してきました。その中で多くの経験をしました。その経験を生徒会長になりいかしたいと思いました。

生徒会長になって印象にのこっていることが2つあります。1つ目は卒業生を送る会や新入生歓迎会です。卒業生や新入生に楽しんでもらえるように生徒会で話し合い、計画しました。たくさん準備をして、喜んでもらえたことがとても嬉しかったです。2つ目は月1回行



高等部

っているあいさつ運動です。朝8時20分から10分間小学部玄関と中高等部玄関で生徒会役員が櫛をつけてあいさつをします。お互いあいさつを元気よくできることはとても良いことだと思いました。

生徒会長になって改めて自分の発言や行動への責任感が大切だと思いました。また、全校生徒の手本になれるように心がけてきました。しかし、そこには私がミスをした時には協力をして手伝ってくれ、挑戦するときには私の背中をさらに押してくれた仲間がいまし

た。卒業後、ろう学校での経験をもとに色々なことを学び、理想の自分に近づけるように成長していきたいと思います。



おめでとうございます

★小倉和美PTA会長が「聴覚障害児を育てたお母さんをたたえる会」より表彰されました。長きに渡り、聴覚障害のお子様の子育てに邁進され、保護者の方々と共にPTAで活動をしてられました。その努力と功績を称えての表彰となります。おめでとうございます。



編集後記

発行に際し、先生方、保護者の皆さまに御協力をいただき、感謝しております。ありがとうございました。楽しんでお読みください。

PTA理事

藤野 薫・秋山 由貴
印部あづさ・内藤 麻由

★本校図書室が「令和5年度文部科学大臣表彰～子供の読書活動優秀実践校～」を受賞しました。PTAからも図書室に多くの本を購入していただいています。

幼稚部 成長を感じた運動会

藤野 薫

毎日暑い中練習に励み、迎えた本番当日。雲一つない青空のもと、無事に運動会が開催されました。幼稚部は初めにサーキット、パラバルーン、ダンスと長い演目でした。障害物を進む様は個性が出て可愛らしく、表現は最後まで息ピッタリで迫力もあり、観客を楽しませてくれました。玉入れでは、チームに分かれ、一生懸命かごに玉を入れることができ、リレーは全力で走り抜け、ゴールで嬉しそうな笑顔を見せてくれました。この頑張りは子どもたちの大きな糧になったと思います。子どもたちの成長に驚かされた運動会でした。



第52回 運動会 「あきらめたらそこで試合終了だ！ 全力出しきりがんばろう！」

小学部 盛り上がった運動会

秋山 由貴

さわやかな秋晴れの中、今年も運動会が開催されました。昨年は拍手での応援でしたが、今年は声を出して応援出来たのでとても盛り上がりました。競技の間、学年を超えて一丸となって応援しエールを送り続けていた子供達の姿に感動しました。赤組・白組どちらも最後まで全力で頑張りを抜いた素晴らしい運動会となりました。今年も多くの方々の支えがあり、無事に運動会を終えることが出来ました。子供達を見守り、指導して下さった先生方や地域の方々にもご協力頂きまして心より感謝いたします。



中学部 多くの方に支えられた運動会

印部あづさ

爽やかな秋晴れの下、運動会が開催されました。エール、ダンスなど練習の成果を発揮して、素晴らしい演技を披露してくれました。ソフトボールやマット運動では、日頃の授業での取り組みも伺い知ることができました。うれしそうに応援している生徒達の姿がとても印象的でした。



卒業生や退職された先生、交流校の生徒もいらして下さり、本校が多くの方に支えられている事を改めて感じました。子どもたちはもちろん、指導にあたる先生方、当日お手伝い下さった学生の皆様、本当にどうも有難うございました。

高等部 家族みんなで運動会へ

内藤 麻由

前回の運動会は、保護者の人数や席も決められていましたが、今年は以前の様にテントや椅子を持参し、たくさんの方が見に来ていました。

赤、白に分かれてのエールは子供達のパワーやエネルギーを感じ、先生方や保護者から拍手や歓声があきおこっていました。各学部の演技やリレーなど、それぞれが力を出し切り、コロナ禍で色んな制限により見れなかった人達も子供達の成長を近くで見る事が出来たと思います。半日という時間の中で格好良く、可愛い子供達の元気な姿と笑顔がたくさん見られた運動会でした。



手話講習会

内藤 美希

今年度は16名の保護者が、初級と中級に分かれて受講しました。回を重ねるごとに、講師の植田先生と、手話で積極的にコミュニケーションを取ることが出来るようになってきました。子供の話題や、手話イベントに関する情報なども交えて、楽しく学ぶことが出来ました。これからは、「手話は言語である」ということを深く理解できるように、学んで行きたいと思えます。



フードドライブ

秋山 真衣

本校で取り組んでいるフードドライブに沢山のご協力を頂き有難う御座いました。世界共通目標であるSDGsと直結している「1. 貧困をなくそう」「2. 飢餓をゼロに」「3. すべての人に健康と福祉を」本校PTAとして微力ながら協力させて頂けたことに感謝申し上げます。ご家庭に眠る食品が一人でも多くの必要としている方へ届けられる様に今後もご支援ご協力をお願い致します。

